

読者各位

株式会社サイエンティスト社

このたびは、「くすりの安全性を科学する」をご購入いただき誠にありがとうございます。
本書におきまして以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますと
ともに深くお詫び申し上げます。

正誤表

該当頁	誤	正
p5 ■有害事象 vs. 副作用 1 行目	有害事象は、リスクを測るときにもっとも大きな役割を果たす。	有害事象は、リスクの評価にもっとも大きな役割を果たす。
p27 ■MedDRA 12 行目	図 4-2 に示すように、LLT は最も特異的な用語で、一方、SOC は最も非特異的でない用語を含むものである。	図 4-2 に示すように、LLT は最も特異的な用語で、一方、SOC は最も非特異的な用語を含むものである。
p27 ■MedDRA 図 4-2	HLT：上室性不正脈	HLT：上室性不整脈
p27 ■多軸性 1 行目	込み入ったことに、多くの場合、同じ MedDRA 基本語は一つ以上の SOC に見られる。	込み入ったことに、多くの場合、同じ MedDRA 基本語は複数の SOC に見られる。
p71 ■基本的な心電図の概念 9 行目	心臓は心筋細胞によって形作られており、	心臓は心筋細胞によって形成されており、
p72 ■基本的な心電図 15 行目	水平軸の各 1 mm 角は時間の単位を表し、 <u>1 mm = 0.04 秒 (40 msec)</u> で、心電図記録紙は 1 秒間に 25 mm の速度で送られる。	水平軸の各 1 mm 角は時間の単位を表し、 <u>心電図記録紙を 1 秒間に 25 mm の速度で送ったとき、1 mm = 0.04 秒 (40 msec) となる。</u>
p99 表 13-1	被験薬 N=5157	被験薬 N=5175
P116 左段落 21 行目	表 15-10 では、潜在的副作用発現率の用量依存性を	表 15-10 では、潜在的副作用発現率の用量依存性を

該当頁	誤	正
P174 ■過剰摂取の治療 3行目	例としては、アセトアミノフェンとナロキサン	例としては、アセトアミノフェンとナロキソン
P176 右段落 17行目	また、過剰摂取は <u>これらのタイプ</u> の事象の転帰になり得るので、 <u>薬剤乱用と意図的な誤用の症例</u> に関してデータベースを検索する.	また、過剰摂取は <u>薬剤乱用と意図的な誤用のタイプ</u> の事象の転帰になり得るので、 <u>これらの症例</u> に関してデータベースを検索する.